非常に準備が悪く、生徒が集合した時にはマイク、机等の用意も出来ておらず又、各役員

は、総会の時の議長選出の件であしせた。

會員の態度が残念

改正及び追加された重要な事項

員長は次のような学記を本紙によ

なお任期の終つた清水前中央委

加事項についてであった。

た中学校生征会会則の改正及び追

談題は昭和三十一年に新発足し

その中より、一名議長を選ぶとい

III

増田

両君に决定

中央執行委員長選挙

高等学校前期生徒総会は、十一月十五日六時間目より講堂において開かれた。この日は

低調さを下まわる

新聞編集局 京都市北区小松原南町 TEL 42334

> 学期末考查 マラソン大会

十二月の予定

日

21~23日 Xの行事(父

兄招待あり)

部、一ノ宮諸先生方立会のもとに

会幹部の意見におさえられる傾向しての態度という事について考え一的に円滑に進む様に努力して下さ

その次に、総会における会員と

して、もつと冷静に、そして理解

迎会をよく理解してくれたら解決

前期の分まで

わざわざして下さつ

て行きたいと思いますので、皆さ

んの御理解と御協力をお願い致し

ですが次の事項を着実に積みあげ

びます。

ます。

3ることですから、会員の態度と て大変得んで

中学

で、よく考えて反省していただき

後期から実行する

ることになってい

又決算否員会は、新会則により | せんので、極くありふれた事の様

は後期の方も経験なさることなの

たいと思います。もつともつと生一ましたが、さつそく後期の方が、

てみたいと思います。締会という

い。説教がましいことをならべた一会員の皆様に

難もなく会期をすごせたのも会員

我々があまりの困

会人として生活して行く上への基

ります。前述の様に機等が今後社

まずクラブ活動の向上発展であ

とを書いてきましたが、もう一度

回想といいながらつまらないと

これを終らせていただきます。

せたいと思います。

B-000-0V

▼新体育館が完成

て、より良いクラブとして発展さ すので、僕等の良識と判断に依つ 礎的一試練としての学習でありま

の皆様のおか

けとお礼をいつて、

| | 開盤に於て苦名、寺西、平井、服 なつた場合に、会員の意見が生徒 | そ前期中学生従総会は十月三十日 | つた。これは中央委員長が議長に一です

行われた。生徒が講営に集合した

にあるためである。

そこで 隣長の 選出方法は、 総会 のは、 唯一定の人が話しあったり

ぎわのよいところをみせた。しか

時にはすべて準備がととのい、手

し、総会はやかましくなかなかま

長となり、もしも立候補がなき場 を開く三日前に立候補した者が議

を喜ぶものとは違うのです。これ一下さい。 議長や役員がきりきりまいするの

切なことです。よく考えておいて てました、しかしこんな事でも大

合には、各クラスより一名選出し

建夫 小池 院彦

克三 彥 A = A

C

從介

否がその構成する国民、社会人間

自分の任ではないと驚きと困惑を一僕らの自治精神に依つて、どの様して、何の役にも立つていない。 一様としての生徒会を 館の二つの部屋は、鍵がかけばな つている部屋が多すぎるように思 そう見られないのではないかと思 ▼こんなに鍵の多い学校は他には てはなばだ不便である。又二階新 開くドアは、西のものだけであつ ろで、この新体育館で遊ぶにあた たパスケットが出来るようになつ る。今までしたくても出来なかつ われる、体育館にしても。放課後 用者が減つていく恐れがある。▼ つては、補導部の許可が必要であ われる。もつと自由に残々が使用 いつたい、この学校では鍵のかか 倒くさい許可が必要とあつては利 たためで、ここ当分はバスケット るそうだ。せつかくの体育館も面 ムが続きそうである。▼とこ へんなにぎわいであ

川嶋中央委員長

## 

### 十一万五千円少しで利益は五万五 総売上高が十七万円少し、支出が 反して総会の一週間前に通告を出 をくつたため、総会を開くのが遅 | 徒会活動は不活発か」というので 記念祭の後始末や学力試験で時間 あり、これによると予算八万円で一因だ」「クラブが生徒会から浮き せなかったととについて弁明した。なかった。主だったものでは「ク くなつたことを陳謝し、又会則に た。ついで記念祭の決算報告が 次に執行委員会からの報告があ まず、麻田会長が開会を宣し、一質問もなく終了し、つぎに議題 が集まらないなど、開会前から非難のヤジが相当でていた。 体裁だけの議題

新 千円程度であつた。 四番目に中央委員会報告が何の「ではない」という意見などであつ「おす必要が出来てきたようである」

ラブに対する答附を認めよ」「コ

ーチがいないのが活動のにぶる原

気なさに「つまらん。つまらん」

えていただきたいと思います。 員がたてましたブランを中心に考 う程の事はありませんが、我々役

まず、クラブの納得のいく予算

が、これはよく考えていただきた

中央委員会

思われておられる方がいた様です いをされて、唯多ければ多い程と

いことです。

顧問の先生方も、あまりのあつ

の連絡であつだ。我々に生徒会へ

上つている」「クラブ同士はもつ と結びつくべきだ」等の意見や文

> う結果を生んたのか。何しろ我々 の情熱がないのか、情熱がこうい

には生徒会の存在について考えな

クラブの部長との話 合いで、一一車置場もおつてできる予定だそう

Ξ Α

一委員長に選出されまして、これは

社会生活的訓

たいと思います。僕らに許された

機はもう一度樹さんと共に考え

人の質によります様に。

会

高木

和敬 最

うしたい……と云う目念を僕は持 与えられた責任は全力を同して全

つております。今度意外にも中央

픙

とですが、予算小委員会を開いて

省略させていただきます。又自転

は何度も何度も書いた事ですので

その次には映画観賞の事、これ

副委員長 委員長

奇感登史雄

好むと好まざるとにかかわらず

ある事です。この事は、以前から これは実行され、又実行されつつ

いわれながら仲々できなかつたこ

「こういう場所で討議すべき問題

あつて、非常に繋然としていたが ほとんど討論らしいものは聞かれ

間という異例の早さで総会は終了

等の要認が出され、だいたい一時 に出欠、調べるのはやめてほしい

いただきました。

回想といつても、とりたててい

のいく予算、ということを思い違 クラブ部長や部員の中には、納得

配を本紙に寄せた。

又後期の各委員は次のとおりで

77

P

る

耐議に入つた。議題は、「なぜ生

に終つてしまつた。

各役員の協力を得て、ベストを同

定されるという予算決定方式とな

川嶋裕司君が、執行委員長には、

副委員長 委員長

超架擋

二人丹羽

率司

邦彦

なかつたため、中央委員長には、

中央、執行両委員長の立候精者が

委員の選挙が行なわれた。今度は

d

三C 岩

時野谷

光博

健

衣

たため、放課後は大 ポン台が設備せられ ツトのゴール、ピン し、このほどバスケ

昭

岡本 隆忠

笠

実治

閱當

降二 正裕

執行委員会

置音

は終了したが、これに伴つて、各

BA

十月末をもつて中学生徒会前期

私といたしましては、私なりに | 応予算案が出来、予算委員会で決

して、大過なく期間を過ごさせて一つた事によつて解決されたと思い

ます。しかし、それであつても、

過半数を獲得して当選した。 増田博智君がそれぞれ互選により

なお阿委員長は別項のような手

 $\bar{A}$ 

部司

記

**孫降則知** 谷史之邦

して全く低闘であり、結論も出ず

にが、発言者が三四人であつたり

浴 **でのくず屋が自分遣人間の姿であ** いあるぞ。」と言つた。その男は「でもまだ石を拾つてはかごを増々」のが入つていなければならないし「だ皆が「やろう!」という残特に「れただろう。人一倍重たいかこを た、そんな石はすててしまつたら 背負ったかごに入れながら歩いて ないのである、そこで増々消極的 ではない。たとえからつぼになつ ある。 もならない石ころばかりを拾つて と思いながら不自然であると考え 魔や気狂いのようになれというの 進む人こそファイトある人なので ある人遠であつたと思う。彼等は 或るくす屋が、道々何の利益に んなものを持つていることを連命 れは鷲地心もみえも外見もない隔 あり、「からつぼ」を以つて押し 参加した多くの者は全くファイト のも 湧いて 来るだろうし。 いのに、拾うものは他にいつば 軍くし、自らの行動を聞しながら 又かならず入つて来るものである ならないというのは皆がからつぼ 背負つていた僕でさえ、しかたな である。世間を見渡すとたいてい、持たねばならないし、その目的をど、期待されていたものではなか、あるいは娘か知らないがそれぞれ に潜極的になつていこうとするの ても、持つべき目的はしつかりと 今度の記念祭が成功はしたけれ 働いたので、その結果さつと終か う。そうでなければ記念祭の意味 の人は重たいかごを背負い、それ 達成した後には、より意識あるも つたのはこの点であると思う。ま に装晴しいものをあいたかごに入

自ら不要な石を捨て身を軽くして を燃え立たせることも出来るだろ

はとらわれることなく青春の情熱

E

鼠之一に沿って努力したいと思います。

感じましたが、しかし自分の信念 | に運営する事が、僕等に又学校に

ます様に、生徒会の存在の意義は

今这度々先輩委員長の言にあり

ろうと云う事を。

大きな幸福を

もたらす事になるだ

生徒自身の認識の如何にあると思

創出する

びえた

頭脳があれば
心配

もし僕に目新しい方領や目標を

できるように、鍵をいつも開けて

います。丁度国家・社会のその良一ないのですがそんな芸当も出来ま

B

松末年與四期部計記記

もなくなつてしまう。そしてこの

C B

機会はやつて来ないのだから、我 機会を見逃すならば二度とこんな

々は一生石をひろつてかつがねば

理

論

よ

b

2 No. を言われるかも知れない」という 要な石ころは捨 様な石ころをいつばい持つて人生 て荷を軽くして 実に人間は「照れ臭い」、「じや という道を歩いているのだ。そし るなどと全く知らなかつたのだ。 「人に除口 どんどんと価値 あるものを拾つては活動している に気がつく。し あえいでいるの かしせつせと不

記念祭をふり返って

尾

人がままある。時にはひどい言葉 周島だと言われてもかまわないの と思う。歌の練習、フォークダン そしてそうする時に気狂いだ、 になることが出来ないからである から。

人間はかならずからつぼになら

(1)

出来ないのである。人を笑う前に

知りながらどうしてもそれを捨て あるかを知つているのである。 の不要な感情を持ちすぎ、不要と るということがいかに最良の策で

こんな考えを拾 い入れることが

馬鹿な男の姿なのである。

給てた石の後に んのちよつびり へ動かされてほ

屋の姿であり、それを笑つた一層

べきである。人はあまりにも多く るのである。彼等はからつぼにな な事でも、まだ誰もやつたことの のは一部の者を除いた他の者違は い機会が配合祭である。今まで特 山の石を持ちがちになる機から今 我々こそそのかごをからつぼにす。をまげずに勇敢に活動し続けてい。ぼ」に人がなるなら、どんな困難。備に全員が積極的にやらなかつた。活に於いてからつぼになる最も良 を受けながらも彼等は自分の信念 である。僕が言いたい「からつ スの練習、あるいは仮婆行列の弾 なくではならない。そして学生生 ない事でもきつとやりとけること
きつと重たいかごをかついで動く
っていた重たい石とろをぶちまけ が出来るのだ。そしてその時に出 ことが出来なかつたのだろう。そ て自由に動きまわるのが記念祭で

もなお、不要な石を捨ててくれる る」という考えは、ともすれば訳 のである。 かしそれが与えた「からつぼにな 過去のことになってしまった。し

に我々学校生活の一思い出として 配念祭はとにかく終つた。すで

し選ばれた当座は私には中央委員 今度執行委員長と云う大変な役

よりもある意味で重要で且つ重大しこれをモットー

問に思つていたが、しかし選ばれ

しどし知らせて下さい。機等の働 の文句や注文でも結構ですからど ら、それに執行委員の活動その他

を得ずしていることであるのかも

しれない。この責任の一部は我々

する油や小さなネジの様なもので

さすのではなく運転しやすい様に きは機械で云うならば機械を運転

表では見えぬが影で立派な仕事で

つて動かしていけるかとうてい疑 な任務をはたして自分が責任をも

增田執行委員長

「生徒の声

(仮題) をかけるか

題からかたずけてゆきたい。又

とか、他に、そういつた種類のも

い。例えば生徒の持物が紛失した

のが、相当あるようである。そう

いつたわけで学校としても、やむ

パンの改善の問題等の現実的な問

いる傘置場。

自転車置場の拡張、

例えば現在生徳間で要望されて

をかけておく必要も確かにあると られない。▼一方、たくさんの鍵 おいて欲しいものだと思わずにい

いうことも残々は認めざるを得な

たからにはベストを図してがんば

りたいと考えている。

い道を作る事

を切に希望する。

であろうから。

行委員と一致協力して立派な楽し

育館等も使用出来るようになるの い。それによって、より気軽に体 くすように努力しなければなるま 々は、早くこの学校側の心配をな にもあることは確かなことだ。我

あると思つて

いる。私は皆様が執

とれをモットーとして行きたい。 姿を一変させて「理論より実行」 おいて実行が出来ぬ前の委員会の 抽象的な公約ばかりならべ立てて 私といたしましては以前の様な

一正しくならんで、運転手が動かす す。そこには自動車やバスが秩序

の自動車やバスの駐車場がありま

ません。それは数奇とは個人の生

つてはならないのです、又有り得

までは何時辺も止まつています。

被を動かす為に学校に行くばかり

『有機体でないから自分で動くこ 何故でしよう。誰でも答えるのは

校教育特に中高教育とは人格を完

が学問の目的ではありません。学

近頃、少年犯罪が非常に多い。

一変ることができないと答えるでし

に思うままに自分の好きな場所に

を云うのは数膏のその目的に反す 成する為であります。道徳の不要

るから数骨としても又数骨を受け

よう。』すべての無生物は自由に

的人権が守れ個人として社会人と

して価値ある人間を強ることであ

ん。人格完成とは人間として基本 る方から考えても価値がありませ

9

道德教育をと

であると云う人間は問題にはなり ません、何故ならば一方には人間

ことを知らずにできるでしようか

ある欲望即ち感覚的欲望を聞する

る人なのです。斯様な人間は日の る平和と幸福に捧げることのでき のます。斯様な人が人類の希望す

新

つて大いに問題とされている。と一を無生物として取りあつかうから の問題は興味ある問題であるの 「道徳数音復活などう思つか」と いうテーマで、村田州父と大臣君一ならば無機体よりも価値がないか を万物の湿痰と云い他方には人間一次してできるものではありませ

浴

に書いてもらつた。

では一体何を根本原理として数

道徳は捨てられない

松氷又町大一好きな位置を選ぶことができなく 第四 金田 これをめぐ 又他の力によって始めて助くので です。そこで倫理道德教育は不要一個性を充実する為に人間に誰にも 物の態度であると答えるのが一般 機か否かと、問ったら離れでも万 無生物か否か。然も自由もない機 あります。そこで人間は此の様な

らであります。学校政育に道徳数一か。或は子供適の気候にまかせた であります。無生物でも他の力に よつて咎することが出き得るのに 人間として行を正すことをこばむ 護でしようか。人間は生れつき警 である、というルソーの考えで敵 いでしようか。自然主義や放任主 育するのは人間の数育でしょう ん、それではどの道徳教育法が良

観光地である京都市内には多く一管は不要という人間は、一人もあ一度任主義は教育でしようか、人間 計をはかる為に経済を学んだり機一歴に傾き弱いのが人間です愛は傷 然し完全なる행人でもありません一知のべきです。実用主義アメリカ は生まれつき悪人ではありません 神 父 を認め高校生の自問にまかせたと です。私選も高校生の理性の発展 のなら如何なる結

かぬ様に数えることが真の愛し

を受ける前に傷が何んであるか又一る教育でしようか。即ち経験によ の或る一部の数資者に於て行われ は領き弱いのが人間であることを い善は成し難く行いたくない悪に

よう。数えられても従わぬ生促が

操が出るでし

も希望もなくなるでしようが実際 せん。さもなければ人間の生活が よくなつたならば苦しみも不正義 において生活が良くても健康があ 遍的道御の基準がなければなりま

つても希望は勿論生も死も苦も変 ないようにみますが其れが真理で一人は人としての目的に遵する時は う故に何んでも経験させるべきで しようか。否々人間には永久的普 正道です書なる行と云うのであり しようか。彼等によると暑とか悪一ければなりません人間の行はなん

一つて其の観音が明らかになると云 。それで真の道徳教育は真の宗教 た行をする時は邪道であります。 の敬える道徳基準に基ずくのでな

人間であるのですそれで人間には もあるのです、人間は無生物機械 でなく霊のある自由のある氷底的 由な智慧と決定力なる意志がある 任を取ると云うのは人間のみが自 ですそれは自分の行に責任を取る 人間の行だけが倫理道徳があるの ことが出来るからであります。貴 れは永遠の幸福を得ることです。 ます。反対に人が人の目的に反し 此の人の目的はなんでしようそ

共通の道標的揺即があるべきです。からであります。真の宗教は神と とが最も大切なことです。 るかを知らぬ貧者に道を散えるこ うカギです。物質的貧困を扱う為 貧乏を扱う事とか社会の貧困を設 とができるのです。人間はすべて 九章の一七此の掟を知り要し守る んと飲せば挺を守れ」マテオ書十 的に到過する手段を明らかにして く人間の目的を明らかにし其の目 には先す精神的貧者、自分の何た 人間が人間としての価値を保つこ のが人権を正しく保つことができ いるのです。「汝もし生命に入ら が或意味での精神的資乏人で此の

はなんであるかを数えるだけでな 少なくとも賢明なる父兄は之れを れの敵を削することができ人間を 知り要され めて入学し は何等云う 真の勝利に導くのです。如何に数 然し他の無宗教的学校に於て数え 学生は洛国に於ける道徳教育を求 える可言か る方法は大 手段を正 目的に向い

必要はありません。全

洛晶に於てはこれに

頭をもち上げてくるのである。そ 残されている種々の問題が次々に

こいるからであります

響館の隣に設ける事が出来、学習

る。長年希望していた資料室を図 れは視聴覚と図書資料の問題であ

ているからであります

バンフレット等の準備を強めてい

し、新聞の切り抜き、絵ハガキ、 に必要な資料を集める様に計画

るが生徒が学習に利用出来るまで

にはまだまだ不足である。

重要な役割を果しているかは今

か、木校図書

視照覚数音が生徒の学習にいか

に別額されるべきで

く選ばずために教育す

ます。此の教育こそ日

だ感謝の気持で一杯になつた。

型通りの図書館が出来上つても

姿を見る時、御父兄の御協力にた

此の目的を示すこと文 を、むさぼるようにしている時の

で行われているからで | 込むようにして図書館に入り新書

間

何故なら人間のすべての行為は

本学師においてその発展摄りに驚かないわけにはいかない。 この度、我学園の図書館は京都新聞社より傷息学校図書館として表彰された。これは歴史の残い 六年前、今の図書館の図書の何分の一という小規模なものとして出発したものが、文字通りの

「いばらの道」を歩んで、とうとうここまでたどりついた。 今ここに図書館の歩みを振り返って見ることは無意味ではないと思われる。以下、川都先生にそ

中でも最も認まれたのは図書館で の飲求を充分に充たす学校図書館一応じられなくて、いつも私自身す らない」のが現状なのである。 らとあせつてみてもどうにも「な」年増え、三階の一数室(現在の三 なく、法律できめられてるのだか は一年や二年で出来上るものでも が種々の事に影響している今日、 ている者として感識している次第 協力によるものと図書館を担当し ナドウ校長の御努力と御父兄の御一図書館を利用してくれた。 の深さ、それを引き継がれた現、 あろうと思う。これは前のホワイ 年を過ぎ、後数ケ月で六年目をむ一ら見える洛西の景色を眺め乍ら読 あるが現在の社会状勢や経済状勢 六十八冊で、それも殆んど宗教書 かえるわけだが種々の学校股間の - 校長の図書館経営に対する熱意 た。少い図書もフルに活用させ、 さて本校図書館も開校以来五ケーまでの倍以上の広さ、しかも窓か 中に図書館が作られる事も校長に 何つていたので、その日に倒えて 閲覧者も家族的な続しみをもつて 委員の驚君も実によく働いてくれ つた。そしてこの当時の生從図書 響するのも全くすばらしいものだ C) を図書館に当てられたが、今 にきめ、特 まない気がした事を覚えている。 (現在でもそうだが) 翌年は一学 | カ年計画だ ばかりで直接学習の参考書になる やがて行われる高等学校建築の

「ばす計画である。

一冊の図書を購入するか否か、

現在の数員室の西隅約十坪の部屋 田、大川、安川、辻君遠思い出せ 不用の書物をとり分けたり、夏休 つた私を助けてよく運営の作業を 体育、職業、図書館とかけ持ちだ つかない手で製本をしたり、当時 作業による図書分類、そしておぼ みを利用してカードの整理、流れ

時のつらさ 入器は二万五千円程) な思いであ 大な豊用が 新しいカウンター、書架、等を見 | 面に特に力を入れ視聴覚面の準備 だが、一カ月或は二カ月に一回程 局も種々の 解が並行し は毎年増加 他の酸率よ ここに大き 一杯だつた のであるが 入費を各科に分配する 必要である事は解るの ない事である。学校当 な悩みがあつた。それ一学習に利用して行きたいのが今後 つた。(当時一回の瞬 した感じで唯嬉しさで 上事他の科の設備に莫 全く身の切られる様 書館がカリキユラムセンターとし 今までの倍の広さ、 しかし図書館として一で、図書とこの資料を共に生徒の ら早く出来移転した る生徒数と図書館予 ての役割を果するにもそうあるべ 行う様にしたいのである。学校図 館が今まで図書の集収や設備の方 てこれらを使い、どしどし授業を 機、模型等を準備し、資料室に於 ープレコーダー、スライド、幻燈 がが遅れている様にも思われるの きが当然であろう。 更述べるまでもな

の図書館の当面の仕事であると思

そして資料室にはラジオ、テ

特に事、醉典響の軍点購入する事 じられるものでもなく、二、三の 先生の協力で考えたのが図書館五 これでは生徒や数師の要求に応 に次に敬養書に手を延 つた。先す基本図書、 等の数材に役立つものはどしどし 考えているのだが、…… テーブに取り、学習に利用して、 学生の時間」や「高校生の時間」 NHKから放送されている「中

て思えばナンセンスな問題も、当 にからんで起つたとんだ濡衣を着 して生徒の要求を充た 」といつて図書館に入つてくる生 音したテーブによつて「時事問題 従を見る時、このような時間に録 彼、 又外でソフトボールをする生 少い資料をカバーして行きたいと 」の一つでも耳を傾け、又連続放 一時間目の授業から「自習です

せられた事件もあつたが、今にし

時は如何

又、マテリアルセンターとして学 のでないかと考えたりする。 なエネルギーを消耗するより良い 究した方が、朝つばらから関体的 送されている「郷土の歴史」等の ようなものを聞き乍ら学習し交研 とに角学校図書館は、生徒、数

中心機関として存在しなければな プされ「学校図書館は数資活動の一弦の定める理想的な、そして生徒」ものは少なかつた。生徒の要求に 変化にともない急にクローズアツ 戦節はあまりかえりみられなかつ | らないだらけの送録が出来たので | したのであるが、当時蔵巻数二百 た学校図書館が戦後の教育制度の らない。そして

らのことから昭 声があり、これ その働きは広範 節である」等と 習を進めて行く 能力に応じた学 配性を禁重し、 発性を重んじ、 し、子供適の自 又立体的に展開 の各方面からの がなくては不可 には学校図書館

入賞し、褒彰された事は芸だ客ば 社主催」の「優秀学校図書館」に 手段を考え一層の努力をしなげれ 営の活動力ともなり、又反省し、 二十七年、学校が開校した当時 率いにしてこの度の「京都新聞

(写真説明)

野の図書館と、当時の川島先 右二七年、鵬校当時の十 右上、京都新聞社で表彰状

い。かく自然に理解させ又すとるとになるから暫い事をしなさい」 えたくもないだろう。それに販法 などというのは道徳じゃない、処 にも、「いけません」と書いてあ 組のエライ人々は本当のカトリシ ないのですよ。……けれど、日数 ズムなんか知らないだろうし、数 など数えるetc…ete」 真平御免 こうむりたい。悪い事をしたらソ のたとえ話でもつて、うそをつく カトリシズムを扱えたら文句は 結局偉人の伝配位が適当だろ 文部大臣が言つてました。 「狼 和二十八年八月

6

道徳の根本原理は少くとも 知ら これこれだけを数えるべし」とい ない。で、人間は人間たるかぎりですよ。しかも先生には、「これ

にでもわかる。

結局仕方がないから、道徳科の

のではないし、神もそれをゆるさ 十人の生促を一べんに数えてるの

ら、この遺憾を捨ててしまえるも

い。けれど一人の先生が四十人五

言つたつて今の日本じやあ、そう のだけど……家庭で数えよ……と

うまくは行きでうもない事はだれ

これが、あり得ないとは云わな

てただのアニマルじやないのだか

残念な事には、我々は人間であつ 目を聞く……。

は無い方が都合が宜しい……所が 生征の心の中なる道徳が自ずから

いう事は凡人にはちよつとむつか

郎

しすぎる。小説の中でなら優しい

遺徳などという、うるさいものを、先生の霊魂とが接し合う……

をやめていただかなければならな デリケートな整線の出合いを四十

2

ればならない。いやなら人間

ラノルマがある。 そこに、 てんな

No.

い。仕方がない。じゃあ、どうし

人五十人の一人一人に求められる

だろうか?、だれもが人格的な何

修身にならないかと心配してる向 んなにしたら昔の天皇陛下様様の いう事になる。しようがない。そ 講座をもうけなくてはならないと

いの時に、自然に身につけさすべ

よく云う、道徳教育は普通の授

生の話を聞きながら、真剣に何か

道を求め徳を求める生促が、先 だろう。 ゆくとも過去十年間はそ 要はトンとない。安心して道徳の

は知識の外にはチョークの粉だけ くの生徒が胸中深くすいこむもの かを、汲み取れるだろうか?、多

ぶ。何もそこまでピクピクする必

徳教育はしつかり十分に行われて

徳的知識を植えつけるための、道

かく人格的な、社会生活上の道

それを称して、被害妄様狂と呼

論をぶつて下さつても結構。

う、格言の解説もよろしい、

ういうのが多かつたようだ。あま

根本原理を聞いたらいい、聞いた

を受けるナドウ校長。

を置かなければならない」「生徒 のが公布されたのである。 学校には「学校図書館を設けな ればならない」とか「司書政論

には「学校図書

|を生徒図書委員と共に整理する書|の一人一人が努力し育てて行かな 五ケ年計画が思いの他に早く実現 館と理科設備の為の省附をして戴一求に膨じて供給して行きたいと思 時が図書館経営面で一番苦しかつ一節のカリキュラムセンターとして してやるか き図書館がぼつぼつはじめていた た時代であろう。 れたのもこ 降つて地が固まるのだ」と励まさ び、ずらりと響架に並べられた時 し、次から たのである。全く当時は図書館経 三〇年に父兄にお願いして図書と習に必要な図書や資料を備え、要 の当時である。この当 中で、校長から「雨が 次に入館してくる図書 という事が第一だつ くせくと働いてみても出来る事で なく、学校図書館は、生徒、数師 うが、二、三人の係の教師が、あ ければならないのではないかと思

であろう。少なくともこの名を日 出来ないのは上島君の「バッチ」

チフダ」がある。これ等のアダ名 のアダ名には「ピンボウ」、「シ

から推察して彼を知らない者遇で

しようつ。

まず何んと言つても忘れる事の

クラスの総評はこれ位にして面白

野球で言えば小柄だががつちりチ

まとまつた面白いクラスだ。まつ いを感じている。H一B、中々

たくくやしいが仕 されている。まつ

方がない。しかし

々はこのクラスの人員である事に 現々はH一Bの生徒である。 我

皆他クラスに圧倒

1/1

柄だがガッチリ型

B

るどんな記録でも

好チームと言える。及第点と言う

ムワークのとれた守備力のある

べき。体育祭の時も我がチームは

々はその様ないくじなしでない、

敗けているのでは決してない。我

中々健闘した。但しそれは騎馬戦

まず勉学を見よ。この方面では我の「ベリカン」位だろう。前者は面白いのは大山岩であろう。

彼が丹波から来ているのでつ

いつもにやにや笑つてい

るが、淡田君の「田舎」、岡田君 言つても前者に比べれば大分落ち

難している証拠である

ものらしい。後者は何故だか知らとに彼の顔を見てい

つてよく「ベンギン」と呼んでしぬ。私は彼のニックネームを間違

や棒倒し等にかぎられていたが。

(3)

僧飼そうな顔をしている(注、頭

スの秀才連の目の敵にされてはか 物の名は鬱かない。後から他クラ 何故なら我がクラスには運動神経る。しかし、ここではこれ等の人

々が誇りに思う様な人物が沢山い

# 

待望の編集室

も決る

みてはども思つている。

編集室を整えるのに一生脈命であ 員なり」の少々得意な気持で胸を 子に腰をかけ、「我こそは新聞局 ることが出来た。場所は中学二階 新聞が、やつとその所在を明らか いつばいにしている。今のところ 狭くはあるが我々新聞局員は、や の中学生徒会室を仕切つた東側。 子校側に要望していた編集室を得 ごと
単が
決つたわけで、
各々の
橋 新聞局ではこの度、かねてから | こうして今まで誰が、どこで編しが、どうすればよいか建設的な意 集していたのかもわからなかつた

こでは省略するが、すべての間間 武彦岩といつたぐあいに決定し 編集長に時野谷敦岩、主座に安田 をはつきりさせた。即ち、局長兼 分担がはつきりしていなかつたの の分担を決め、各々そのいかめし にするのがねらいなのである。こ る脳足感を持つて行動できるよう とに、個人が責任を持ち、かつあ一君もより新聞が身近に感じられる のかも知れないが、<br />
我々としては た。これを見て諧君は吹き出され こういういかめしい名をつけるこ 又これを機会に今まで責任者や



と思うのである。

い肩書に得意になつている次第で一を願いたい。「新聞はつまらん」 ものを述べさせてもらおうと思う が、これを云々する前にまず協力 ここでこれからの抱負といつた

にしたわけで、これからは読者諸なかつた故やむを得ないが、今か 塞へ意見を持つて押しかけて来て かつた。今までは所在が明らかで 見を述べてくれる人はほとんどな らはそうではない。 どしどし編集 るかは書くまい。興味半減すると ろく読んでもらおうと計画してい ろい新聞」を目ざして努力したい と思つている。どうやつておもし

生とも相談して懸命に動く。

肩書に応じぬよう顧問の苦名先

さて抱負だが、まず他校との交

洛星らしさを示せ



委員の諧君のパフントウルという 私さえもはつ 配念祭であつ とするほどの 無事に終つた

のあと味というものは決してよい ものでは無かつた。 ものは計り知れないものと考える しかしよく考えてみると記念祭

て起つた事であろうが、記念祭後 規則的な生活からの販舗によっ

等々耳のいたい声はたくさんある「の各数室における態度は、今まで「自慢していたほどなのに。諸君、 一私が経験した事のないものだつた それは何であろうか。すでに気付 授業中にキャラメルを食う事は知 だろうか。私は公立の中学生が、 うが、戦室でキャラメルを授業中 なかつた。三年ほど前まではこん い事である。洛星、それはこんな に食つている生徒が、はなはだ多 な事は無かつたし、自分自身でも そこまで落振れていようとは思わ にも哀れな姿となってしまったの いている諸岩も大いにある事と思

いニックネームを持つ連中を紹介 ベリカンとペンギンとは鼻うもの 人物は、第一に大飯君だ。彼は一 このクラスで面白い、一風変つた 日に二、三回は必ず顧問する。た ベンギンではなくてペリカンだし 大籤茗、藤田君、米谷君等がいる のはあるまい。 有名である。H一では彼に敬うも ある。彼等の他の理由家としては 又前期の樋口君は相撲が強いので また今まで言つた人物とは金然

ちがつた感じの者に泰君がいる。

も、およそ彼の盗が想像出来よう ス」これを必らず言つてから質問 一で知らぬ者はあるまい。彼の他 だ普通に質問するなら問題ではな で手を上げる。立ち上る。そして 言う。「先生、全然分からんデッ い。しかし彼のは変つている。ま 盤の的になって る合の所被の攻 この位で人物評をやめさしてもら 断しを進めて行こうと思う。 長くなるので、それをぬきに しかし、その失取を述べていたら すぎて時々失败する。 彼はいつでもどこでも非常に落ち いている。そしてあまり落着き

る(記)

文句を二つ

諸君、我がクラスは何に於いても と言うもの。次に有名なのは、と この様な彼の質問は淡々にとうて 共にこのクラスの詭弁家の双璧で 名誉である。何故なら彼がよく始 化学、国文法だ いるのは幾何、 事にはスケールの大きな人物がい 希望について述べたい。 田一Bは て我々のクラスだけでも大きく持一何も実行力があるとは限らない。 事ではなく洛星全体に言える事で ない。これは何にも一日に限つた 洛星には少なすぎる。だからせめ 仲々いい組である。しかし残念な あるが。スケールの大きな人物は つ様に努力する次第である。 最後に北がクラス全体に対する 選挙やりなおしとは全く不愉快で 年生では非常に不識が多かつた。 当との学校側の意見で再選挙が行 僕邁 が真面目にこの人ならやつて が再選した。この問題について三 われた。勿論始めに選ばれたもの ある。、姚彧ができるといった人が くれるだろうと思つて選んだのに

勝写版で号外じみたものもやつて より他校のニュースをも掲載でき **②と思う。第二番目に印刷をする** こどうしても時間がかかるので、 我々は今後できるだけ「おもし その事を話している語君の姿を見 私たちは記念祭以後、今までちよ 事のように思っているが、私はそ 星の生淀諸君には、そんな男がい 中に弁当を食つて自慢的のよう 生徒数が増えたからで仕方のない あるとは思わないが、少くとも洛 にゆるめたのである。今でも授業―ないが、僕達が真面目に行つた以 つとゆるんでいたものを、よけい 再出発しようではないか。 そんな事をなげくような事は組ら るようである。ある人はこれは、 る。勿論、これはどのクラスにも ないと思う。諸君もう一度、反省 つは思わない。私たちは個人個人 してみて、新しい気持で第一歩を

近頃の傘の無断連殺行為は本校に 態度をはつきりと (十一月二〇日)

と言つたところでかような事件が 大多数は手もとに帰っていないの 持物を無断で持ち帰ることは大き一丁學に掃除をしてあるところもた 少し補職部のこの事に関する処置 し、又我々が疑問に思うのはもう 帰られた傘の大半が帰ってこない たりがみがみと「傘をとるな。」 とこうをみると、持ち帰つた当人 片付くはずがないのである。特ち一 が現状である。それを唯残合がつ あるし、又無断運搬されたものの とつて全く不名誉そのものの話で らいたいことである。勿論、人の なり、対策なりをはつ言りしても

中学校では後期の執行委員の選挙 中学後期執行委員再調祭に一言。 ない問題だから、一度生徒に返答一問われればえらそうなことはいえ一辞典類、哲学書などはそろつてい れてしまうがなり」ではすまされ ってこないことは何か例切れない い期間をへて、まだ自分の手に帰 おられることと思うが、すでに長 な罪であり、非常に残念に思つて してくださることを望むものであ ものがあるのである。「持ち帰ら を行つたが、三年生だけ役員不適 中三A 杉本明夫 の欠点はやむを得ないことかもし ない。つまり、ようはもう少し学 仕方をしたとしか思われない所も くする態度が必要だと思うのであ 極的に、自ら我々の力で学校をよ よければ、自然と曼校心が燃える れないし又、きさまはどうか?と をならべれば、人間として少し位 あるではないか。一々こまかい所 くざんあるが、中にはでたらめな のではあるが、それよりもつと積 もらいたいのである。勿論学校が 校をよくしようとする心を高めて

映画部設立を呼 CK かく

中二 大橋憲太郎

又どんな本が入れてはいけないの

が今後どのような未を入れるのか うと思う。儀は図書館関係の人選

かを聞かせて欲しい、又その際成

入れて異れるようにお願いする次 るべく外国文学力至は日本文学を

かえつてその反対の人の方が実行しぬ、これに対する生徒の際じは、 い結果ばかりを残していないよう だ。いちいち許可を得ねばなら 非常に嵌しい。しかしこれは、良 この学校は映画に対する態度が

一力があるのである。学校側がどん | 中一頃では尾鐸を出すということ 上選挙をやりなおすということは 選ばれている。 あるべきことではないと思う。又 真面目にやつた証拠に、同じ人が な見方で再選挙を行つたのか知ら くなつたり、右に述べたようなこ い。中二以上になるとめんどくさ られることは余りよい感じがしな な映画を見るのかということが知 が怖いように感じられる。又どん とがある。又中学生に於ける保護

全部キップで買うようにするべき がキップ制度になつて会計でキツーいっ時、校則を忠実に守る者は、 い。このようなムダなキップなら ブを発行したが、最近では、ほと出さず、保護者も同伴せす、一人 もバンを置える。バン当番のかん一る。それで殆んど見なくなる。校 ブを売つているが、 キップ制度にはつきりするなら 作らない方がよいのではない んどの者がキップを買っていな一で行くことになる。(推定だが中 じようが間違えやすい為にかキツ 別を忠実には守らない者は屈縛も 一学期の終り頃からバンの売出し | 護者が行けない場合が多い。こう のバンの切符制度は有効か?… 数室では金で一映画に行くのはやめることにな 見すごすわけにはいかない、これ るのではなかろうか)この結果を は三分の一位の者がこの状態にあ 二では全体の大分の一位、中三で 者同伴ということは、同伴する保

もつとしまりを

を完全に解決するのは学校にまか

ではないか、校舎内を見たまえ、 る。入る時の列はくずれる。全く **委員長が注意しなければ静かにな** 以前とは打つて変つたような有様 又、すぐにしやべり出すものがい の基本的な規則である静粛すあま 以前よりめつきりふえたし、学校 らない状態である。朝礼がすむと 例えば朝礼の態度を見れば、執行 り守られていないようである。 ように思われる。遅刻をする者も 近山学校の雰囲気がたるんでいる 又保護者の代りは先生になつても 画を選び、補事部の許可を得る。 第一の目的とする。部員で良い映 る。それは良き映画を見ることを 等、やることは多かろう。 せておく。しかし我々生徒でいく らかでも解決しよう。その第一と し合う。団体鑑賞の映画を選ぶ らう、鑑賞後その映画について語 して映画部を設立することであ

方面の本、特に外間文学は余りに 聞社より優良図書館として表彰さ 入れてもよい文学書はあるである も少ない、僕達が読みたいと思う しその本の内容を見ると、参考書 本の磐悪については非常にやかま あい本も入つているし、きれいだ である、成程本校の図書館はわり リック系の学校であるから、読む もよい、成程、僕達の学園はカト 文字書の半分以上はないといつて はないか、現在図書館にある文学 るが、文学方面の本が少ないので れた、まことによろこばしいこと し、その他立派な点が多い、しか 本核の図書館はこのたび京都新 いのであろう、けれどももつと

サ

ービスします

## 1/ 說漫画募集

漫画を募集します。 このたび新聞局では次の規程に従い小説、

諸君せいぜい力作を書かれん事を望む。 応募規程、

小説 四百字詰原稿用紙三十枚以

資格

洛星中高校生徒

漫画自由、

提出 先 各クラス新聞部員又は苫名 先生

洛星新聞紙上に発表 一月十五日

ン料 乳詰具

風

図書館に望む 高一B 岡田

信一

電④五三三三 軒

8 ん類・丼・パン類・菓子の

野

北野 紅 梅 町

書 籍・文具はお求め次第

サ

ービス満点……

千本中立売下ル 電④四九〇五 松屋 出来ない自分達。いかに学識があ

一歩先がどう或るかも知る事の

求

自分遊はともすると目先きの利

め

もル死ルという真思なマントが襲 ろうとも、いかに裕福であろうと

かかったならばもうどんなに、

もがこうとも逃れる事は出来ない

うのだろうか、それなら自分は

だと

کے

うこと

高二の

諸 君

え

る

志

して板後に見た彼の安らかな顔 年前の今日、彼は死んだ、そ」を求める為にか、『総望』を満た す為にか、川宮川を獲得する為に

かつた。いや立く理由もなかつた 友が生きている。そして永遠に生 | らば、もつ一度、自分の価値、人 彼が死んだ時も泣く事は出来な 云つた言葉を忘れる事は出来な一の幸福だと考えている人間は居な一らなくなつた。 又決して<br />
忘れたくはな るべきである。 間というものの価値について考え一る最も尊く誰にも侵害される事の 考えて生活している人間が居るな か、と自分は反闘する。そしてそ れ等の内のものを獲得する事が真一見いだした。その後撲り合いもや いとは思うが、もしそういう風に 人間の行動には必ず目的がある 要するに人間は神を信じ神を愛

からだ。彼が一つていた様に正し 新しい人生へ一合の世が改等の目指す目的のすべー社会ではないだろうか。そしてそ しまつた。後 を連れ去つて 何の予告もな 然であつた。 の肉体から取 しに死が訪す 終しい死は 彼の死は突 を求めねばならぬ。 如く、 倚なもつと価値のある精神的目的 り、理性を持つた人間はもつと高 たものであり、それは理性を持た そうだとしたならば、これ程矛盾 てであるとは思つていない。もし ぬ動物道のみに当てはまる事であ すべてであるという論理から生じ 必ずや目的があるはずた。自分は であり裕福な家の子供は幸福であ だろうか。貧しい家の子供は不幸 した、これ程不平等な世界がある 人間一人生宝れて来るにも の宝の中に見出し、神のおおいな 誠実な生活を含なむならば必ずや 安を見出し自分の宝として明るい ない。早く一人でも多くル心の平 に対して不安を感ぜずには居られ 軌道な青年少女が造つて行く社会 のとしてル心の平安ルを持たぬ無 として女、子の父母と成るべきも これからの世界を背負つて行く者 生まれるのだ、これからの日本を の闇の中から無軌道な青年少女が 中でうごめき合つて居るのが今の 自分の価値とやるべき使命とをそ

田

益だけを考えて行動したり将来の 事のみを考えて、現在自分が立つ 演劇部々告 \$-000 V

き、あたふたと速て出すのが常で 自分のなすべき軍大な事柄に気づ、スマス行事の一環として行う予定 マントが襲いかかつて来て始めて一た演劇部ではその初の公演をクリ も考えて見ようとはしないで思い て居る場所がどんな所であるかを 死んだ友が良く!日の愚かさを 記念祭がすんだ後新たに発足し

死ねば自分はどう成るのだく肉一知れ!と云つていた。そして彼は一高一人の安田君が主役として出演 と自分は『己の愚かざを知る』とうなものを上演したいと思ってい 又合年の記念祭で演技賞を受けた する予定であります。部員一同は りきつて演劇部の名に恥じないよ 演出を高一Bの葛行君がやり、

という事ではないかという結論を を知るという事ではないか、すな わち』偉大なる父』』神を知る』 内に住むぼくには、するさが眼に 変らないし、ぼく自身もずるくな り経つた。ぼくのこの感想はまだ せたものだが、あれから一年ばか なまでも高い。この名声に比べて 派な点も多い、洛星の名声は不当 つたことを意識する。洛里には立 浴星の第一印象は、みんなを終ら ぼくの「みんなずるい」という一ついてならない のか校長の何をそれほどまで陥れ した状態を作らなければならない がやつて来ると、このように緊張 が不思議でならない。何故、校長 ぶすような何物かをきみたちの中 覚は、校長の巡視をいち早く捉え を見まわしたり、こそこそと内職 現われるのである。ぼくは、これ に感じたら、やがて校長が数室に る突然異様な空気が漂い、圧しつ ときには(?)授業中に、まわり したりして授業に熱心でない。

ない』心の平安である。その』心 がそれをなし得、誰もが与えられ の平安ルを求める事が出来ず闇の する事が最高の幸福であり、誰も みたちにとつていやな勘数のとき の反面、どういう風の吹きまわし 盾なんだろう。 に損ですとすらいう。何という矛 なのだが)授業料を払つているの か、授業をわらないと(それはき と自習の要求さえする。また、そ ソフトボール、ソフトボール…… と除口を叩き、ひどいときには、 面白くないの、やれつまらんの、 ると、きみたちは教師には、やれ なのだ。 この校長にたいする態度に比べ

る慮を一身に受けるであろうと思 生方の鬱濛をきみたちはどう考え一か。そしてこの「ものや人が輝 も、静かに見つめている。その先 らると思うからこそ、少々の脱線 のために抑圧され強制によつてそ 育を受けてきた。つまり、全般的 ンは、きみたちの配憶に遂い実に よって方向づけられるのではなく たからこそ、きみたちには強制に 向けられていた。それらを経験し れに盛仕させられるという方向に ではないにしてもある人々の恣意 いやな軍国主義的な抑圧の中に数 洛星の先生方のジエネレーショ

いろいろないい分があり、これは もちろん、授業態度については

くの感じる「ずるさ」の一つの例 なければならないのか。これがほ 味がない。そこで教師と生徒の関 をぼくなりに考えてみよう。面白 全でない責任もある。しかし、学 係として考えてみると、つぎのよ 師一人でも、きみたちだけでも窓 たちの側には、判らないからとい くないということの中には、きみ えてみよう。授業というのは、教 の努力をもまつことにして、もう えよう。だから、これはきみたち きみたちの努力が足りないともい 問はたとえ初歩でも容易ではない いのは、もちろんぼくの指導が完 らないこともあるだろう。判らな くの怠慢によって、実際面白くな う理由はないだろうか。また、ぼ 一つの面白くない授業の原因を考

一笛吹けど踊らずの感じがして、こ うなら……とずるをきめこんでし うなことがいえる。数節が面白く まいたくなる。これは、きみたち う。そこで、エイノきみたちかそ そうでなくてもとろんとしたファ 判りやすく授業しようとして、数 の態度が原因なのか、はくの情熱 ちらの情熱までもなくなつてしま イトのないきみたちをみていると 室に臨んでも、騒がしかつたり、

じやないか。

たらぬ。たとえば邦夷公につい

ており小舟で流れを横切ろうとし

た二人は流木で水底に引ずり込れ

に送れてうれしく思い、限りない

洛星新聞館の号を無事諸君の手

た。しかも作者は二人

こにしているのである

である。

新陣容での作業は、まつたくの

国語課の先生方には感謝する次第 ほど協力して下さつた生健諸君、 時は梅野期

い当り石狩川が増水し

るのである。

しかしちようどその

編

集後

記

受けて案内人と河口へ行こうとす

|玉目三郎と案内人の死は我々の心 | まいにこした事は無いが。その意

人間の死を描いている事である。

れで充分である。その上文体がう れた意識、思想が優れていればそ

ばならない。

のは作者が案外多くの

を強く引き

に婉曲では

るが絶対的な命令を

00000

あると思つ。ことで注意しなけれ一であろう。しかし之の中に込めら

事が此の小説の最も大きな主題で一なる程志賀直報に比べればまずい たのであろうか。此のかぎを解くれた小説を作らせたのだ。文体は らしく思わ

|知らぬ我々にとつて珍||作品を残したのも良い物を残した

ながら此れだけの生命力あふれた

である事である。又死の床にあり 銭には関係の無い純粋な芸術作品

では作者は一体何を云いたかつ

れるエネルギーが彼に此の様な優

いという、人間本来の本能から生

新聞局員

募

道ばたにある草などのようなもの 人間の自然な姿の美しさに心が打 たれて超るのではないでしょう する時のことであります。この時 いる時に、例えば道を歩いていててその赤トンボが、日の光を受け は、何等かの意味で壊疽になって が輝いて見える時」があると思い われるのですが、自然の美しさや は考えてみると不思議なものに思 いは、人間が特に崇高に見えたり が何かしら輝いて見えたり、ある 私は人間には「あるものとか人

白くない上に、七時間も憂鬱なの かも知れない。つまり、授業が面 一つのレジスタンスであるという が続くからなんだ……と。 晴れた日に、あまり家にいると退 自分がエゴイストぶりを発揮して 屈するので、気暗らしに外へ出て だと思います。その時には、警段 てみえる時」は非常に美しいもの いたのが恥かしくなります。 去年の夏休みの終りの頃のある

> もつとザックバランに断合って、 上のようでないことは確かだから 現われるといえないだろうか。 とに違いない。そして、愉快な接 がいにびつたりと呼吸を合わせる 断絶はぼくの相難であつてほしい ものであると思う。そして、これ ように討論することは繁晴しいこ しかし、少くとも、生徒と数額が にも、ずるさ、ごまかしとなって ないことが、きみたちにも、ほ ところにみられる断絶の典型的な りくつのためのりくつでなく、た らの断絶、つまり、意思の疎通し しれない。きみたちのすべてが以 授業においてみられる断絶現象だ といえよう。この断絶はその他の われとの一番大きな接触面である ぼくの判断は大げさすぎるかも

この旗のもとに **虚をにくむ者よ** 我らの友だ! の描写等が生命力のあふれる筆致一たありさま、冬のびようびようた 広告によってであった。単なる大 郷の北海道の異色ある自然、生命 白かつたと思う。ただ物語のすじ んでみて色々な面から考えても面 泉小説であろうと思つていたが読 が面白いだけでなく作者の生れ故 此の本の名を知つたのは新聞の

君らは 来たれ!

ます。これは私の感じたところで上にあちらにもこちらにも赤トン 45-bodfee-Chauffee-Ch めに少しはかりの畑がある所のそ のお母さんでしようが、その赤ん の方へ赤ん坊をひきよせていまし ばを通つていましたら、道や畑の 坊を心から 變し ているようでし ボが無数に飛んでいました。そし

気持がよくなつてきたのですが、 した。それをみていて私は自然に ものや人が 輝いて見える時 高 B つづけていましたが、その人はや 降りるまで、ぐずぐずだだをこね

で、ちよいちよい二、三才の赤ん したが、じきに倒れそうになった てみえる時」を人間の持つ事が出 坊をつれた若い婦人を見かけまし ので、その若い婦人は「そうれみ ると、又とない貴い時だつたようるので、その人は仕方なく赤ん坊 又同時に何かしら崇高な感じがし さしく叱つていました。又ある日 ました。その時は今から考えてみは、赤ん坊が電車の中で歩きたが に思えるのです。 最近、学校へ来る途中電車の中 赤ん坊は二、三歩よちよち歩きま るけれど、この「ものや人が輝い の手を放してやりました。それで 来るものとして忘れてはならない

てどらんなさい。」と云つて自分

業の雰囲気を作ることを始めよう

すから、ある日などは、私がその まだ何にもわからない赤ん坊で

た。かえつて問題の人

を発揮できないが、何か専門的に

君が行つた。まだまだ「うまさ」 君が、三面は川辺岩が、四面を岡田

やつているうちにうまさを出する

とが出来るのではないかと思う。

活に感じた事などは、新聞局員又

また、勝君の声、忠告、学校生

こ。それに対して阿賀

てまばゆいばかりに輝いて見えま 人に気付いてから白機町で電車を うが、私は考えてみればこの世の く種々の異つた意見があるでしよ 中にはわからない事もたくさんあ のです。この事についてはおそら その「あるものや人が輝いてみえ」的な思想、組織から生れているの ばいあります。けれども私には、 えてなりませんでした。 そしてその時は〈普段は忘れ勝ち あるものであり、人間の心の中の であるけれど)人間の憧れている 高な時として感じられるのです。 の時」が生きている<br />
間中で一番崇 一つの宝のようなものに思われる 現在私にはわからない事がいつ

え方、行いをする典型的な人物と一つかしい思い出」は核長先生の御 なつているのである。 **投後に注目せねばならないのは** | 下にあつて此の作品を | ます。 御了承下さい

を持つて為されており興味深かか」る大雪原などはせせこましい内地 本庄陸男著

んで

は自分の人生に残す最後のかたる

だから此の作品は一人の人間の金 として、此の作品を作つたのだ。

登史雄

阿賀婆、伊遠邦夷公はもう一つ食 大野順平、戸田老人等で主人公の 比較的良く描けているのが期際、 順平、戸田老人その他官軍の役人 邦夷、その家老阿賀婆、家臣大野 ている。登場人物として藩主伊遠 にとりかかるという所までを描い れ一夜にして六百名もの武士が職 して渡り、ついに当別原野の開拓 を失い、仕方なく北海道へ移民と

た。私はこのような光景を見てい た。そしてその若い婦人が貴く思 優れたものである。此は作者が生 かによく観察していたかが判ると れ故郷を如何に愛していたか、い て気持がすつとするのを感じまし んらん、夏の当別原野の広々とし の作家ではちよいと書けぬような 野』にも比べられよう。他の日本 の自然描写は国木田独歩の『武蔵』。その時玉目には若い妻がありそ いたのかも説明してほしかつた。 とは、一体校は維新をどう考えて しかし舞台となつている北海道 梅雨期における石狩川のは 要本人はさほどの悲しみも感じて も言えそうである。結局玉目は命 てはいないのだ。しかしそれにし の胎内には最初の子が寝つていた でいつたのだ 合に反抗出来ずに答弁もなく死ん 建的な制度によって起った懇劇と てはあまり あるのか。実際には誰も罪を侵し 切けないよ が此の行為を行わずには目的地に てしまうの かろうか。 のである。

此処で考えてみるに封

君の意見を聞いて、立派な機関紙 のある新聞を発行した。い種々諸 そつて「おもしろい」しかし、味

として育て上げたい。

今回の編集は一、二面を時野谷

にも大きな損失では無

す発展の道を歩んで諸君の希望に

日間であつたが……。今後ますま ある。とはいつても仲々苦しい数 スムースさを持つて完成したので

その場合罪は一体誰に

それを描く舞台として北海道を使しに一回の発行も決して不可能とは る明治の初め頃を使つたのだと考 える。そして である。僕は 々の方が封建的なものによつて玉 につけ悪き きたかつたのだろうと思う。ただ などよりも『封建的な考えと人間 い、時代として近代社会へ移り代 のありのままの人情の対立』を描 おける歴史は ることも深く る。一見不 目が死んでい につけ封建的な物の考 見抗力であると思われ いつた事を悟るのであ 主人公阿賀婆は良き >考えれば、全て封建 事実や北渡道の自然 作者はむしろ維新に

から、その量によつては、二週間

れだけ早く新聞が出来るのである ある。踏君の投書が多ければ、そ

いえない。

発行しているものではないからで ほしい。何も洛星新聞は、学校が は、局室の投書廟に入れておいて

せんので、失礼ながら次号に廻し 都合により、原稿が出来ておりま おことわり、先号の続き「な